

発行日：2012年4月1日

自分の土俵は自分でつくろう

社会福祉法人 もえぎの会 監事
社会福祉法人 同愛会 日の出福祉園
施設長 古山恵治



昨年発生した東日本震災以後、日本人の心を見せ付けられていると思います。日本の社会全体が岐路に立っています。現在、福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、従来、社会福祉法人が担ってきた事業を、NPOも株式会社も行う時代になっています。福祉の範囲が広がり、進歩しています。このような時代に、私たち社会福祉法人の職員の役割を、改めて、真摯に、考えなければなりません。私たち社会福祉法人の長い経験と技術、実績に基づき、どのような利用者であっても支援ができ、利用者を選ばないという基本を「職員の資質」として全員が持つことです。さらに「利用者が社会に参加する」という、当たり前のことを目指していきましょう。この当たり前の社会へ参加するということを、利用者一人一人に合わせてどのようなことができるかを考えていくことです。私たちの職業は、利用者の存在なくしてはありえません。その利用者がどのような人なのか考え、支援を行います。

「利他の心」を持って、人を育てる仕事を作っていきます。「利他の心」とは、常に他人の幸福や利益を考える心です。利用者も職員も育てることが組織の目指すところです。利用者中心の支援ができる事業所を目指してください。さらに、人々の存在そのものを歓迎する心を養い、表現できる人財となって欲しいと思います。他責ではなく自責で行う。われわれの仕事は、「人を成長させることで自身も成長することです。」

目標は、障害があろうが無かろうが、「大人になったら社会に参加する」ことです。参加の仕方は個別です。ゆえに個別支援計画が大事になります。「自分でできることは自分でする」ということを利用者も職員も行っていきましょう。「やれ」ではありません。いかに自分から取り掛かるか、まず自分が動いていきましょう。

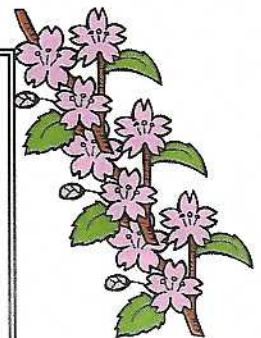
このような時代であるからこそ振り返って欲しいと思います。目の前の利用者が何を望み、どのような暮らしをしたいのか、それを誰としたいのかを皆さんで考えていきましょう。

2012年度 もえぎの会 事業報告会・懇親会のご案内

下記のように本年度の開催を予定しております。

7月21日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室

改めて、ご案内をお送りいたします。ぜひ、お誘いあわせの上、ご出席していただきますようお願い申し上げます。



しいの実社 2012年度事業計画

地球温暖化のせい、今冬は厳しい寒さが日本列島を包みましたが、少しずつ日差しの暖かさを感じ、遅れていた春を迎え、スタッフ・社員は新たな気持ちで、新年度をスタートしました。法人としては、昨年7月に記念の式典を行い、節目を迎え、新しい未来へ向かって、新たな飛躍の初年度となります。

しいの実社は、3事業の安定運営を進めるとともに、社員・家族の高齢化や定員超過、就労支援、相談支援・生活支援などの課題に取り組み、必要な事業を創設します。そのために、しいの実社だけでなく、他の事業者や行政などと連携し、目黒全体の障害者福祉を前進させたいと決意しています。

重点課題

しいの実社は働く場所という姿勢で支援します。社員のニーズ、適性に合わせて、仕事の供を行い、高齢社員への配慮、製品に対する消費者ニーズの変化を考慮します。高齢社員には、落ち着いた環境の整備、特別プログラムの実施、高齢者サービスとの連携などを試行します。

スタッフ間や事業所間の情報共有、均一化した支援力の向上など支援の質の向上に努め、成果を上げます。社員・家族との連携をさらに強化し、深い信頼関係で、長期的な視野に立った支援を、積極的に推進します。

- ① 就労継続支援B型事業
 1. 2つの事業所の連携強化と生産維持
 2. 生産/販売増加による工賃の向上
 3. 就労に向けた意識づくり
- ② 生活介護事業
 1. 社員の安定した生活と生活の幅の拡大
 2. 達成感、満足感を持てる仕事の提供
 3. ウォーキングや体操など体力の向上
- ③ 就労移行支援事業
 1. 就労に向けた基礎知識の習得
 2. 生産維持と社会参加の機会づくり
 3. 一般就労に向けて多様な実習先の確保

さらに、地域に根ざす活動の一環として、小、中学校の職場体験の場、特別支援学校や大学などの実習の場として積極的に協力します。その結果、社員が地域で安心して暮らせるように、日中活動の場であるしいの実社、生活の場である沙羅の家を引き続き運営します。

記念DVD完成とホームページ刷新のお知らせ

もえぎの会は1978年の活動開始以来、30年を超え、法人認可後、10年を超えまして、昨年7月に「活動30周年、法人10周年」の記念式典を開催しました。そこで、記念式典に加えて、30年の実践の歴史、現在の活動を記録した記念DVDを作成しましたので、広報誌「萌木」共にお送りします。ぜひ、ご鑑賞して頂き、感想をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

【感想の送付先】

- － メール shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp
- － FAX 03-3760-4193
- － ホームページのお問い合わせページより
<http://www.moeginokai.jp/>

第10回 しいの実祭 開催

2011年11月26日(土)に第10回しいの実祭を開催しました。10回記念ということで、10年を振り返る写真の展示や10周年記念のしいの実社商品セットを用意しました。

天気にも恵まれて、初めて1000名を超える参加者となりました。後援会会員としてお世話になっている近隣の白川電機さん、五十嵐電機さん、大正鉄筋さん、平研磨さんに場所をお借りして、狭いしいの実社の敷地をカバーしました。地元の清水町会さんの焼きそばやフランクフルトの屋台、後援会によるバザーの開催や豚汁の販売、後援会会員である天ぶら割烹 川さきさんの揚げたて天婦羅、目黒区その他施設の販売などで協力して頂きました。施設内では、オカリナ、アコーディオン、ハーモニカなどの楽器演奏やしいの実社の活動の展示、商品の販売など、1日通して賑わいを見せていました。

改めて、地域に支えられた10年であり、今後ともさらに深く地域に根付いていくように活動することを確認しました。



オープニング



清水町会 屋台



後援会バザー



打ち上げ お疲れ様

土曜日開所

日付	選択	参加者数	内容
4月16日		27	映画、外食
5月15日		29	カラオケ、外食
6月4日	いず	18	映画、外食
6月18日	れか	12	外出(地震の学習館)、外食
7月2日	いず	10	川の資料館、外食
8月6日	れか	18	カラオケ、外食
10月1日		25	映画、外食
11月5日		26	カラオケ、外食
12月17日		27	ケーキ作り、買い物、お楽しみ会
1月21日		22	映画、外食
2月4日	いず	8	電車、外食
2月18日	れか	20	カラオケ、外食
3月3日	いず	14	散策(すすめのお宿周辺)、外食
3月17日	れか	14	電車、外食
合計		270	
平均参加人数		27.0	平均参加率 56.3%

余暇活動は暮らしの幅を広げ、よい仕事を支え、地域の人とつながる機会を増やします。しいの実社では、土曜開所のプログラムとして取り組み、参加者は少しずつ増えています。社員の多様なニーズに一つのプログラムでは応えられないため、ボランティアさんのサポートもお願いして、地域の資源を利用できる少人数のグループの企画も取り入れています。

大好きなカラオケ



みんなで食事!



すすめのお宿

